

学校評議員の主な意見

(1) 働き方改革（第2期）について

- ・管理職の意識改革が必要と感じている。わずかな残業でも残業代を支払う風潮になっている。また、男性の育児休養を推奨しているため人手が足りなくなる。
- ・権利を認めつつ、全て対応できるわけではないので、話し合いを進めながら古い考えを新しい考えにシフトする必要がある。
- ・ICT関連に取り組んでいて良い。校務支援システムについては県全体で取り組んでいけば、異動先でも活用できるのではないかと。基礎ができてしまえば、次年度以降活用できるのではないかと。
- ・PC等操作に人間が追いついていない。使う側の技術アップが必要だと思う。セミナー等を活用できるとよい。
- ・年度切替で人が変わると対応が大変である。ICTは成果が見えにくい部分が難点ではあるが、システム化（データ化）してしまえば、引継ぎの簡略化につながる。データ管理を生かしていけるとよい。

(2) ICTの推進について

- ・HPは拝見している。更新は先生にとって負担がかかると思うが、見る側は楽しい。負担にならない程度に更新してほしい。また、保護者がスマホで検索することを考えると、表示を作り変えているところは素晴らしい。
- ・保護者専用のページをHPに作成しているのはよい試みである。今後、パスワード等かけて運用されることを期待している。

(3) 進路状況について

- ・4月報酬制度改定により、入所施設は現在風当たりが強くなっている。現在、夜間、日中サービスは一体化しているが、今後は、日中は別の場所のサービスを利用して、なるべく地域に出るようになる。福祉サービスにつなぐ努力はしているが、マッチングが上手くいかず、相手先から断られ20歳以降の受け入れ先が見つからない現状がある。
- ・就労先のマッチングが大切である。企業としては人が足りないのが現状である。南那須地区は宇都宮市に通えるため地域に若い方が少なくなっている。
→本校の生徒の若さ、体力をアピールポイントとしていきたい。
- ・企業→法定雇用率：通勤の問題がある（自動車の運転、免許取得ができない）。
- ・就職後、離職につながらないようフォローが必要である。
→目先（就職等）のことではなく、その先を見据えた（長く働くための）情報を保護者と共有していくことで対応したい。

(4) 学校評価について

- ・アンケートについては、本施設でも職員に対して行っている。職員からフィードバックがないとの意見がある。本施設でも対応できるよう改善、努力していきたい。
- ・保護者からの意見はマイナスに捉えがちであるが、改善点を見出すには良い機会となる。
- ・アンケートは保護者が興味あるなしに反映されるところがある。保護者と教員のポイントにそれほどずれがないので良いかと思う。引き続き取り組んでほしい。
- ・地域へ取組の周知がもっとあってもよいかと思う。普段から作っているものを周知すれば、負担なくできるので良いかと思う。
- ・地域には高齢者が多いので、「地域便り」の回覧は、時間をかけてよく見ていると思う。回数を増やし、特別支援学校の特色を伝えられると良いと思う。
- ・HPにコメントを書き込めるようにするのもよいのではないかと。普段から「ご意見箱」等があると良いのではないかと。
- ・作業学習等について児童生徒が自ら考えて「発信する」自らの意思で「報告・連絡」できると良い。安全第一「怪我しない、事故を起こさない」を重点に指導していただけると良い。